



サイエンス研修



11月14日(水)、1年生がサイエンス研修に参加しました。サイエンス研修は、大学・企業の見学、フィールドワークの自然観察などを通して科学技術に対する理解を深め、課題研究に向けた素地を育成するために行われるものです。希望をとって5つのコースに分かれ、それぞれ積極的に取り組んでいました。

5つのコースを紹介します。

- ① JAXA・第一工大コース
- ② 霧島ジオパークコース(新川渓谷・鹿児島神宮など)
- ③ トヨタ車体・埋蔵文化財センターコース
- ④ 工業技術センター・マイクロカット・埋蔵文化財センターコース
- ⑤ 鹿屋体育大学・京セラ総合研究所コース



JAXA 資料館

生徒の感想

- ① JAXA ではロケット発射の準備に伴い、中の施設を見学することはできなかった。資料館はたくさんの模型があり、説明はかなり難しかった。第一工業大学ではとてもためになる話をしてもらった。飛行機がなぜ飛ぶのか、ロケットは作用反作用の法則が使われていることなど学べて勉強になった。
- ② 自分が住んでいる地域のことを全く理解していなかったことに気がついた。国分高校のあたりは昔、湖だったこと。火砕流のこと、海面が上昇したことなど初めて知ることばかりだった。大木先生の話がとても面白くわかりやすく、自然にとても興味を持った。今回学んだことをさらに課題研究で掘り下げていきたい。
- ③ トヨタ車体では、地域活動やどのような機械を作っているかを知ることができた。埋蔵文化財センターでは機械の進歩により、土器のことがいろいろとわかるようになったことを知った。とてもいい経験だった。
- ④ マイクロカットの見学では工場内が油の臭いが充満し、製品の小さな起伏をなくす作業も見られ、埋蔵文化財センターではたくさんの遺物や、それを人の手で一つ一つ修復して復元しているところを見て感動した。また、遺物から当時の生活が想像されて有意義な研修だった。
- ⑤ 鹿屋体育大学は日本に数台しかない設備があり、スポーツを学ぶには最高の環境だった。特に世界で一つしかないフォースプレートという地面の下に埋め込んでその上を走り、いろいろなことがわかる設備や、ピッチャーの投げるボールの特徴を細かく分析できる機器、ビデオで500コマ以上の写真を撮れる機械など、めったにできない体験をすることができた。プロスポーツを目指している人には最高の環境だった。



新川渓谷



埋蔵文化財センター



鹿屋体育大学

